

こうさてん 第二十号

発行 御宿新田区 広報委員会
代表 御宿新田区長 湯川 富雄

一年を振り返って



平成三〇年度、区長としての最初の事業は春の河川清掃でした。荒天により中止となり、行事の執行を心配させるスタートとなりましたが、その後は天候にも恵まれ事業計画を予定通り進める事が出来ました。

特にカルチャー教室では、昨年に引き続き、市教育委員会との共催で小中学生に向けたサイエンス教室を開催し、市教育委員会からも高い評価を頂きました。また、夏祭りでは、引き続き近隣企業の協力を仰ぎ、企業との交流の深耕や国際交流の一助にもなったと考えます。地域防災訓練も多数の区民の参加や通信を含めた訓練内容が市からの監察で高い評価が得られました。これも区民の皆様のご理解とご協力のおかげと心より感謝しております。

思いもよらず富岡地区区長会長を重任することになり、区役員の皆様

区長 湯川富雄(中一組)

には大変に協力頂きました。御宿新田区は、400戸を超える市内でも大規模な区ですが、これまでの役員の皆様の先進的な取り組みと区民の皆様への深いご理解によりコミュニケーション活動がうまく回っているなど強く感じる事ができました。

市や地区の行事とは縁遠かった私が区長という大役を務める事ができましたのは、支えてくださった皆様のおかげです。ありがとうございます。

今年から、北部住宅開発が本格的に始まるなど、御宿新田区を取り巻く環境に大きな変化が予想されますが、区民の皆様の変わらぬご支援をお願いします。



この一年を振り返って

子ノ神社当番世話人 土屋浩三(中一組)

鳥居を潜り、清涼な空気を胸いっぱい

に吸い込み、木々の息吹を肌で感じ静寂の空間にしばし身を委ね神前に祈りを捧げる時、氏神様は私達に、ご加護と勇気を与えて下さる……子ノ神社は正に、ハワスポットであると思います。当番世話人という大役を仰せつかった事に感謝し、一意専心、神社の維持管理運営に努めて参りました。予定しており



ました事業を、滞りなく執り行う事が出来ましたのも、偏に氏子の皆様を始め世話人の皆様、区役員の皆様のご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、神社の維持管理についてですが、昨年度に引き続き、高所クレーン車を使って樹木の伐採を行いました。社殿を覆っていた枝を伐採する事で、以前より明るくて安全な空間を確保する事が出来ました。

また、穏やかな秋晴れの下、平成最後となる例大祭を盛大に挙行する

事が出来ました。直会にも大勢の皆様に参加して頂き大変感謝しております。

そして私達の心の拠り所であり子ノ神社を、より理解していただき、身近に感じていただく為に、大森紀行世話人のご尽力により「子ノ神社のご案内」リーフレットを1000部作成し、区内全戸及び近隣各所へ配布する事が出来ました。

これからも引き続きリーフレットの配布を通して神社をPRして参る所存です。また、作成に当たり参考意見をいただきました歴史世話人の皆様のご協力に感謝申し上げます。

創立以来三百十八年、先輩諸氏の熱い想いを引き継ぎ次の世代へと繋いでいくことが、私達世話人の使命である事を改めて認識させて頂いた次第です。

今後とも、氏子の皆様に気持ち良く参拝していただけます様に努めて参りますので、変わらぬご理解とご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。



自主防災活動を通して感じた事

今年には日本各地で、地震・台風・豪雨・土砂災害等、多くの自然災害が起きた年でした。

御宿新田区では、幸いにも自然災害による大きな被害はありませんでしたが、何時自然災害が発生するかわかりません。自主防災会としても、定期訓練や防災機材及び防火設備の点検整備等を行い災害に備えておりますが、十分な備えがあると言える状況ではありません。

区民の皆様への災害に対する備えと災害発生時の家庭内での安否確認方法等を日頃から話し合いを行い、災害に対し家庭内での意識を高めて頂くことが、重要だと思います。

もし災害が発生した時は、まず自分と家族の身を守ること、そして近所や区民の方と助け合う事(自助・共助)が必要です。

その為にも、自主防災会としては防災訓練や防災交流会等を通して、災害時の対応の勉強会や区で保有している資機材の取り扱いを学んで、皆さんが使う事ができるよう、活動を行っております。

また、活動の中で区民の皆様から気付いた意見等を取り入れ、更に良くしていきたいと考えております。

自主防災会長 福島 清(北一A組)

自主防災活動は、役員だけでは成り立ちません。今後も、区民の皆様のご協力とご理解をお願いいたします。



安否確認訓練



防災交流会イメージ



可搬ポンプ訓練



消火栓訓練



炊き出し訓練

カルチャー教室

*健康講座*手作り望遠鏡
カルチャー担当協議委員

小松一三(西二組)

八月十八日第一回目のカルチャー教室*健康の為の野菜食*健康ストレッチ体操を裾野市健康推進課の栄養士と保健師2名のご協力により開催しました。栄養士さんによる塩分控えめでも、美味しく食べられる野菜料理や野菜の成分又塩分の取り方など勉強して頂きました。保健師さんには疲れている筋肉を柔らかくする簡単なストレッチ体操を指導して頂きました。



健康講座

第二回はサイエンス教室*未知の宇宙を天体望遠鏡で覗いてみよう*をテーマに十一月十八日裾野市教育委員会と共催で生涯学習センターで東北大学名誉教授前日本天文学会会長の市川隆様をお招きして宇宙で太陽の周りをハヤブサ2リユウグウなど衛星の様子をP/Cの動画で講演して頂きその後、先生の指導による親子さんで望遠鏡を作り、月や星を観察しましたが、曇り空であり見えませんでした。先生が持つ来た大きな望遠鏡では月のクレーターが見えて感動していた親子さんもいました。



サイエンス教室

役員の皆さん受付、誘導、後片付けに、御協力有難う御座いました。

この一年を振り返って

コミセン事務局長

植松義久(西一組)

コミセン会計、事務局長をやって、あっとい間二年でした。私の業務は、コミセンの維持管理です。コミセン建物の老朽化により、雨漏りが発生、又外壁のズレ等が見られます。(現状固定してあります。)コピー用紙、インクトナーの補充、障子紙の張替え等、又コミセン使用のスケジュールの調整などを、一年間やってきました。毎月の各組の皆様にご協力頂いているコミセン内部、外回りの清掃等、大変感謝申し上げます。

また執行役員という事で、区の行事に参加させて頂き、沢山の人の出会えた事は、大変良い経験になりました。

今「コミセン建設検討委員会」が発足して、建物の修理、補修等のご様にしたら良いかの検討が行われています。

最後に区長、役員の皆様、御協力頂き、感謝申し上げます。



子供たちの成長を見れた1年

子供会会長 永田晃崇(西二組)

子供会会長を普段自宅にいない自分が引き受けても大丈夫なのかと不安でしたが、その不安はすぐになくなりました。それは六年生の行動力と団結力、決断力を見る機会が多かったからです。春の集いのドッチボールでは、どうすれば勝てるか六年生を中心に考え、話し合い、勝てば笑い、負ければ悔しがり、チームが一つになったと感じました。夏祭りでは、積極的に露店を手伝い、ジャンケン大会で祭りを盛り上げてくれました。夏のラジオ体操や秋祭りのお神輿では、子供たちが減少し、子供会が無くなっている地区が多い中、区民の皆様の協力があるからこそ、御宿新田区は続けていけるんだと改めて思い、子供達は地区の皆様から支えられ、皆様に元気を与えていると感じました。クリスマス会では六年生が本当に仲良く、下級生の面倒を見てくれました。

楽しく会長をできたのも自分の提案に協力してくれ、迅速な対応と素晴らしいチームワークの役員の皆様のおかげでした。一年間ありがとうございました。



子ノ神社境内



子供神輿



じゃんけん大会

防犯灯担当の二年間にて

防犯灯担当協議委員

大内 昇(北四組)

平成二十九年度より、二年間協議委員の担当役割として防犯灯の管理推進員の活動を進めてきました。

そんな活動の中で防犯灯照明のLED化を進めた結果、今年度において百十ヶ所所有の防犯灯全数をLED照明に変更する事がこの五月にて達成する事が出来ましたが、しかしながら本来の狙いである省エネ効果による電力料金の何ら変化(東電請求額)が無く疑問に思われた事から昨年より調査した結果、原因が判り対応を行った所、月々の請求額が約四十五%低減できたと言う事が有りました。

又、今年度は異常気象の為か裾野地域内においても落雷が頻発しその影響により防犯灯にも落雷し防犯灯の器具が破損、その為に夜間になっても点灯しない結果となりやむなく器具交換と言う処置を取る事となる異例が有りました。本来ならLEDに変更すれば何十年と耐久性が有るはずの予定でしたが想定外の出来事でした。

今回、この様なイレギュラーが有り余分な出費も発生しましたが、今後も地域の保安を維持する為にも、防犯灯の推進活動は欠かせない取り組み項目で有ると思っております。

尚、今後も継続し区民の皆様方のご理解の上活動を推進して頂きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

LEDに変更し、こんなに明るくなりました



体育行事 感謝とお礼

体育委員長

小池淳司(中二組)

区民の皆様方には、今年度体育行事に深いご理解、ご協力頂き、誠に有難うございました。

また、平野副委員長始め、各組体育委員の皆様のご協力により事故も無く円滑な行事運営が出来ましたことに感謝いたしております。

今年一年を振り返りますと、五月父親ソフト、七月婦人バレー、九月ボウリング大会、十月富岡地区体育祭、市民ソフト、十一月男女混合バレーと例年通り行いましたが、各行事とも、参加者集めに苦労しました。区の体育行事が、運動会から、散策の会、そしてボウリング大会と変わってきたように、体育委員会の活動内容も見直す時期に来たような気がしました。区民皆様の意見、声を広く出していただければと思います。

来年度の体育行事も、区民皆様方のご支援ご協力がなければ進めることができません。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

有難うございました。



ボウリング大会開会式

今年度を振り返って

街づくり道路担当協議委員

阿保健逸(北二組)

今年度、各組長さんより提出された要望書は四月〜七月で、一四件でした。

要望書内容は道路拡張二件、道路改修四件、交通安全四件、生活排水路一件、安全施設三件でした。これらは区民が安全に、より快適に生活出来るように、とても重要な事と思えます。

回答によっては警察署や市役所の回答によって数年かかる案件もありますのでご承知下さい。

【回答における評価の定義】

A・A・B・C・Dと五段階に分けられていて【Cは事業化見込みが厳しい、Dは事業化対象として考えられない】以外でしたら継続すべきと考えます。

A A三件、A二件、B三件、C二件、D四件、尚工事の施工については緊急性のものを除き次年度となりますのでご承知ください。

一年間お世話になり有難う御座いました。



第四十一回夏祭り

実行委員長 田代祐司(北四組)

今年度、御宿新田夏祭りは、第四十一回を開催する事が出来、誠に有難うございます。ご協力いただいた執行役員会、有志、子供会、区民の皆様、本当に有難うございました。

今年度は実行委員に新メンバーを加え不慣れな中、祭り準備、進行に戸惑いながらもなんとか成功する事が出来たと思えます。

後半、雨が降り出してしまいましたが、たくさんの方々に、お越しいただいたお陰で、祭りも盛り上がり平成最後の夏祭りを締めくくる事が出来ました。

来年、新たな年(年号)を迎える、御宿新田夏祭りを実行委員一同、

頑張りたいと思いますので、来年も引き続き皆様のご協力をお願い致します。



地域活動での発見

青少年健全育成委員

杉本豪士(下組)

今年度、青少年健全育成委員の活動を通じて、知っているようで知らなかった事、また、気付いているようで初めて知った事等、私自身の発見を感じた事がとても多かったです。

十月二十日に実施されたクリーン作戦では、自宅周辺は勿論、自分の子供達が毎日通っている通学路を、ゴミを拾いながら歩くと、予想を超えるゴミの多さ。私達の住んでいる地域を汚すのはいけない、また、一緒に参加した子供達も、いつの間にかゴミを拾う事に夢中になり「何故、こんなにゴミが落ちてるんだらう?もう捨てないで!!」と、言っていました。

きっと子供達の言葉も素直な感情、心を感じたからこそ発した言葉でした。その「心からの子供達の言葉」を体感出来た事は、私自身の地域への貢献、子供達と共に体感する事の大切さを改めて発見できました。

十一月三日に開催された、カントリウオークでは、各役員様はじめ、大人から子供迄多くの方が参加されました。

この日私が発見した事は「地域だからこそ必要な次世代へ伝えていく、または、繋げていく」という事です。歩きながら訪れる史跡、地域のポイント、語られる場所では、私達の大先輩である役員さん達が、次世代である私達に、その場所にまつわる歴史等を教えて下さいました。また、紙芝居で小学生達に見せて、聞かせて解りやすく教えて下さいました。

最後のゴール地点では、婦人会の皆様が手塩にかけて作って下さった豚汁

とおにぎりを頂きながら、子供達との会話も弾みました。地域活動において、このように老若男女問わず、地域の皆様が、お互いに同じ時間、同じ景色を体で感じ、また、大人から子供達へと伝えていく郷土、新たに人々を郷土へ迎えられる。そんな地域でありたい。また、そのような地域で、子供達の成長を見届けていきたいと思えます。

感謝そしてお疲れ様でした

三月退任の執行役員の皆様

- | | | |
|----|-----|----------|
| 湯川 | 富雄様 | 区長 |
| 武田 | 勇様 | 会計 |
| 松田 | 卓様 | 協議委員 |
| 大内 | 昇様 | 協議委員 |
| 光山 | 良典様 | 協議委員 |
| 植松 | 義久様 | コミセン事務局長 |
| 福島 | 清様 | 自主防炎会長 |
| 小池 | 淳司様 | 体育委員長 |
| 土屋 | 芳高様 | 相談役 |



縁の下の支え
執行役員の奥様達